

業績一覧

著書

- 『ヘーゲルとドイツ・ロマン主義』、単著、御茶の水書房、平成12年2月
- 『市民のための生命倫理—生命操作の現在』、単著、御茶の水書房、平成13年4月
- 『新版 市民のための生命倫理—生命操作の現在』、単著、御茶の水書房、平成27年10月
- 『ヘーゲル「精神現象学」入門』、共著、有斐閣、昭和58年10月
- 『ヘーゲル読本』、共著、法政大学出版局、昭和62年3月
- 『生命の倫理を問う』、共著、大月書店、昭和63年10月
- 『生命の解説』、共著、御茶の水書房、平成5年6月
- 『ドイツ観念論との対話・第五巻・神と無』、共著、ミネルヴァ書房、平成6年1月
- 『ドイツ観念論と自然哲学』、共著、創風社、平成6年3月
- 『ヨーロッパの都市と思想』、共著、勁草書房、平成8年3月
- 『ヘーゲル「精神現象学」入門 [新版]』、共著、有斐閣、平成8年4月
- 『国家とエスニシティ』、共著、勁草書房、平成9年3月
- 『人類の叡智に学ぶ』、共著、中央大学出版部、平成9年4月
- 『シェリングとドイツ・ロマン主義』、共著、晃洋書房、平成9年7月
- 『死のコスモロジー』、共著、御茶の水書房、平成10年7月
- 『ヘーゲル哲学への新視角』、共著、創文社、平成11年5月
- 『ロマン主義のヨーロッパ』、共著、勁草書房、平成12年2月
- 『共生のリテラシー』、共著、東北大学出版会、平成13年3月
- 『新世紀社会と人間の再生』、共著、八朔社、平成13年5月

『科学・環境・生命を読む』、共著、情況出版、平成 14 年 3 月

『生と死の現在』、共著、ナカニシヤ出版、平成 14 年 5 月

『明六雑誌とその周辺』、共著、御茶の水書房、平成 16 年 3 月

『生命と人生の倫理』、共著、放送大学教育振興会、平成 17 年 3 月

『ドイツ・ロマン主義研究』、編著、御茶の水書房、平成 19 年 1 月

『芸術の始まる時、尽きる時』、共著、東北大学出版会、平成 19 年 3 月

『哲学の歴史・第 7 巻・理性の劇場』、共著、中央公論新社、平成 19 年

7 月

『「徳」の教育論』、共著、芙蓉書房出版、平成 21 年 2 月

『表象としての日本』、共著、御茶の水書房、平成 21 年 3 月

『空間と形に感応する身体』、共著、東北大学出版会、平成 22 年 3 月

『共感と感応一人間学の新たな地平』、共著、東北大学出版会、平成 23 年

4 月

『世界の感覚と生の気分』、共著、ナカニシヤ出版、平成 24 年 3 月

『自然・人間・神々―時代と地域の交差する場』、共著、御茶の水書房、平

成 31 年 3 月

論文

「ヘーゲル『精神現象学』における実体＝主体論について」、『思索』第 9

号（東北大学哲学研究会）、昭和 51 年 10 月

「ヘーゲルにおける〈疎外〉概念―〈外化〉との関連において」、『思索』

第 11 号（東北大学哲学研究会）、昭和 53 年 10 月

「ヘーゲルの言語論」、『フィロソフィア・イワテ』第 11 集（岩手哲学会）、

昭和 54 年 11 月

「ヘーゲルの矛盾論―形式論理学における「矛盾」との関連において」、

『哲学』第 31 号（日本哲学会）、昭和 56 年 5 月

- 「指示行為における意味—ヘーゲルの普遍概念に関連して」、『社会科学の方法』VOL15 通巻 158 号（御茶の水書房）、昭和 57 年 8 月
- 「ヘーゲルとドイツ初期ロマン主義」、『人文研究』第 91 号（神奈川大学人文学会）、昭和 60 年 2 月
- 「ヘーゲルの〈有機体〉論—ドイツ観念論における自然哲学の一断面」、『人文学研究所報』第 19 号（神奈川大学人文学研究所）、昭和 60 年 12 月
- 「歴史・民族・理性—ヘーゲルとドイツ・ロマン主義の分岐点」、『神奈川大学人文学研究叢書（四）民族と国家』（神奈川新聞社）、昭和 62 年 3 月
- 「ゲーテとヘーゲル—イェーナにおける出会いと交流」、『モルフォロギア』第 9 号（ナカニシヤ出版）、昭和 62 年 11 月
- 「ヘーゲル「歴史哲学」の現代的解説」、『神奈川大学評論』第 3 号（神奈川大学）、昭和 63 年 2 月
- 「ヘーゲルとロマン的イロニー」、『神奈川大学言語研究』第 11 号（神奈川大学外国語研究センター）、平成元年 3 月
- 「日本の「家」社会の比較文化論的考察」、科学研究費研究成果報告書『比較文化論的視角による現代日本社会理論再構成の試み』、平成元年 3 月
- 「光と闇そして色彩—ヘーゲルとゲーテの共同戦線」、『自然哲学研究』第 2 号（自然哲学研究会）、平成 2 年 3 月
- 「バーダーにおける自然と人間—ミュンヘン・ロマン主義の成立」、『自然哲学研究』第 5 号（自然哲学研究会）、平成 4 年 5 月
- 「ヘーゲル自然哲学の成立—ロマン主義からの自立」、『理想』第 649 号、平成 4 年 5 月
- 「初期ヘーゲルにおける〈愛〉の変容—ロマンティシズムからリアリズム

- へ」、『人文研究』第124集（神奈川大学人文学会）、平成7年9月
- 「日本におけるヨーロッパ文化受容の問題点—明治期以降を中心にして」、
『中日文化論叢』（杭州大学出版社）、平成8年1月
- 「ヤコービとシェリングの交錯—スピノザ汎神論の復活とロマン主義の発
酵」、『モルフォロギア』第18号（ナカニシヤ出版）、平成8年10月
- 「ヤコービとバーダー—ドイツ観念論へのインパクト」、『ヘルダー研究』
第3号（日本ヘルダー学会）、平成9年3月
- 「近代的自我の再審と新たな社会理論の可能性」、科学研究費研究成果報告
書『「現代日本社会の動態分析のための社会理論の再審と新しい理論
的枠組みの構築」、平成10年3月
- 「絶対者と知的直観—シェリングの「同一哲学」とヘーゲルによる批判」、
『思索』第31号（東北大学哲学研究会）、平成10年10月
- 「ヘーゲル最初の哲学体系構想—イエーナ大学「哲学序論」講義草稿の考
察」、『人文研究』第136集（神奈川大学人文学会）、平成11年3月
- 「生殖技術と生命倫理—生殖の自己決定をめぐる」、『神奈川大学評論』
第32号（神奈川大学）、平成11年3月
- 「ヘーゲルのイエーナ『自然哲学』の構想」、『イエーナ体系構想』（法政大
学出版局）、平成11年12月
- 「覚醒する意識—ヘーゲル「一般哲学概説」（1803年）講義草稿（一）の
考察」、『人文研究』第140集（神奈川大学人文学会）、平成12年9月
- 「自然から生成する精神—ヘーゲル「一般哲学概説」講義草稿（二）の考
察」、『人文研究』第143集（神奈川大学人文学会）、平成13年9月
- 「ヘーゲル弁証法とロマン主義的イロニー」、『ヘーゲル哲学研究』第8号
（ヘーゲル研究会）、平成14年12月
- 「ドイツ自然哲学者バーダーに学ぶ「生命エネルギー」理論」、『人間会議』
冬号（日本ビジネス出版）、平成15年12月

「現代思想と溶解する生と死」、『神奈川大学評論』第 47 号（神奈川大学）、
平成 16 年 3 月

「「新しい神話」の理念とヘーゲルの神話論—「一般哲学概説」講義草稿
（1803 年）の考察」、『人文研究』（神奈川大学人文学会）第 153 集、
平成 16 年 9 月

Klima und Geschichte bei Herder und Hegel, *Herder-Studien* (10)、日本
ヘルダー学会、平成 16 年 12 月

「同一哲学における「絶対者」—スピノザ哲学との関連において」、『理想』
第 674 号（理想社）、平成 17 年 3 月

「社会のなかの生命と倫理—移植・再生医療の最前線」、『神奈川大学評論』
第 50 号（神奈川大学）、平成 17 年 3 月

「ドイツ・ロマン主義における闇と感情」、科学研究費成果報告書『芸術終
焉論の持つ歴史的文脈と現代的な意味についての研究』、平成 18 年 3
月

「シェリング同一哲学とヘーゲル初期哲学体系構想の差異」、『ヘーゲル哲
学研究』第 12 号（日本ヘーゲル学会）、平成 18 年 12 月

「日本文化と自然哲学—ヨーロッパでの体験から」、『あきつ』第 31 号、平
成 18 年 12 月

Identitätsphilosophie Schellings und die frühen Systementwürfe der
Philosophie Hegels, *Journal of the Faculty of Letters, the University
of Tokyo* (32) 平成 20 年 3 月

「進歩史観再考—ヘーゲル歴史哲学の自然哲学的基礎づけ」、科学研究費成
果報告書『「新旧論争」に顧みる進歩史観の意義と限界、並びにそれ
に代わり得る歴史モデルの研究』、平成 20 年 3 月

「「新しい神話」構想とキリスト教—シェリングとヘーゲルの分岐」、『シェ
リング年報』第 16 号（こぶし書房）、平成 20 年 10 月

- 「風土論の自然哲学的基礎づけ—比較文化の視点から」、科学研究費成果報告書『西洋哲学との比較という視座から見た日本哲学の特徴およびその可能性について』、平成 22 年 3 月
- 「シェリング哲学における「愛」のテーマ—『人間的自由の本質』を中心に」、『シェリング年報』第 19 号（こぶし書房）、平成 23 年 9 月
- 「人間の悪と神の愛—シェリング『人間的自由の本質』を中心に」、『東北哲学会年報』第 28 号（東北哲学会）、平成 24 年 9 月
- 「風土論の哲学的系譜と日本—グローバル化の時代のなかで」、『人文研究』第 180 号、平成 25 年 9 月
- 「シェリング芸術哲学における造形芸術—彫刻と絵画の位置づけをめぐって」、『思索』第 47 号（東北大学哲学研究会）、平成 26 年 10 月
- 「ヘーゲル歴史哲学の原型と変容—「世界史の哲学」初回講義（1822/23 年）を中心に」、『思想』第 1086 号（岩波書店）、平成 26 年 10 月
- 「ヘーゲルの音楽論—内面的感情の自由な流動」、『生の倫理と世界の論理』（東北大学出版会）、平成 27 年 3 月
- 「海と森の文化—日本とドイツを比較して」、『神社と実務』第 15 号（現代神社と実務研究会）、平成 28 年 5 月
- 「ヘーゲル講義録と「世界史の哲学」初回講義」、『ヘーゲル哲学研究』第 22 号（日本ヘーゲル学会）、平成 28 年 12 月
- 「ヘーゲル「歴史哲学」の通説の疑わしさ」、『本』2018 年 11 月号、講談社、平成 30 年 11 月
- 「世界史への哲学的視点—ヘーゲル「世界史の哲学」講義（1822/23 年）を手掛りにして」、『思索』第 52 号（東北大学哲学研究会）、令和元年 11 月

翻訳

『世界史の哲学講義 G・W・F・ヘーゲル 1822/23 年』上巻、講談社、平成 30 年 10 月

『世界史の哲学講義 G・W・F・ヘーゲル 1822/23 年』下巻、講談社、平成 30 年 11 月

『弁証法と科学』(R・ブブナー)、共訳、未来社、昭和 58 年 12 月

『ことばと弁証法』(R・ブブナー)、共訳、晃洋書房、平成 5 年 5 月

「凝固的なものと流動するものについて」(フランツ・フォン・バーダー)、
『自然哲学研究』第 8 号(自然哲学研究会)、平成 6 年 10 月

『シェリング哲学入門』(H. バウムガルトナー編)、共訳、早稲田大学出版部、平成 8 年

『われわれは「自然」をどう考えてきたか』(G. ベーメ編)、監訳、どうぶつ社、平成 10 年 7 月

『シェリング著作集・第 3 巻・同一哲学と芸術哲学』、監訳、燈影社、平成 18 年 3 月

『ハイデッガー全集 第 42 巻 シェリング「人間的自由の本質について」』、
共訳、創文社、平成 23 年 12 月

履歴

学歴

昭和 43 年 4 月 東北大学 文学部 哲学科入学

昭和 48 年 3 月 東北大学 文学部 哲学科卒業 [文学士]

昭和 49 年 4 月 東北大学大学院 文学研究科 哲学専攻 修士課程入学

昭和 51 年 3 月 東北大学大学院 文学研究科 哲学専攻 修士課程修了 [文学修士]

昭和 51 年 4 月 東北大学大学院 文学研究科 哲学専攻 博士課程入学
昭和 56 年 3 月 東北大学大学院 文学研究科 哲学専攻 博士課程単位取得
退学
平成 11 年 2 月 東北大学〔博士（文学）〕

職歴

昭和 56 年 4 月 日本学術振興会 奨励研究員（昭和 57 年 3 月まで）
昭和 58 年 4 月 千葉大学 非常勤講師（昭和 60 年 3 月まで）
昭和 59 年 4 月 神奈川大学 外国語学部 一般教育 専任講師（昭和 61 年
3 月まで）
昭和 60 年 4 月 神奈川大学 人文学研究所常任委員（昭和 62 年 3 月ま
で）
昭和 60 年 4 月 神奈川大学 学生部委員会委員（昭和 61 年 3 月まで）
昭和 61 年 4 月 神奈川大学 外国語学部 一般教育 助教授（平成 5 年 3
月まで）
昭和 61 年 4 月 神奈川大学 教務部委員会委員（昭和 62 年 3 月まで）
昭和 62 年 4 月 神奈川大学 図書館運営委員会委員（昭和 63 年 3 月ま
で）
昭和 63 年 4 月 神奈川大学 外国語学部運営委員（平成元年 3 月まで）
平成 2 年 4 月 ミュンヘン大学 在外研究員（平成 3 年 3 月まで）
平成 3 年 4 月 神奈川大学 図書館運営委員会委員（平成 5 年 3 月まで）
平成 5 年 4 月 神奈川大学 外国語学部 一般教育 教授（平成 18 年 3 月
まで）
平成 5 年 4 月 神奈川大学 人文学研究所常任委員（平成 9 年 3 月まで）
平成 5 年 4 月 神奈川大学 教務部委員会委員（平成 7 年 3 月まで）
平成 9 年 4 月 神奈川大学 図書館運営委員会委員（平成 11 年 3 月まで）

- 平成 13 年 4 月 神奈川大学 基本科目教育協議会会長（平成 15 年 3 月まで）
- 平成 15 年 4 月 神奈川大学 人文学研究所長（平成 19 年 3 月まで）
- 平成 18 年 4 月 神奈川大学 外国語学部 国際文化交流学科 教授（平成 31 年 3 月まで）
- 平成 18 年 4 月 神奈川大学 教学改革委員会委員（平成 19 年 3 月まで）
- 平成 18 年 4 月 神奈川大学 評議会評議員（平成 19 年 3 月まで）
- 平成 19 年 4 月 神奈川大学 外国語学部長（平成 23 年 3 月まで）
- 平成 19 年 4 月 学校法人神奈川大学評議員（平成 23 年 3 月まで）
- 平成 26 年 9 月 学校法人神奈川大学評議員（平成 31 年 3 月まで）
- 平成 27 年 5 月 神奈川大学 キャンパス整備計画検討委員会委員（平成 29 年 6 月まで）
- 平成 28 年 4 月 学校法人神奈川大学 将来構想推進委員会委員（平成 29 年 3 月まで）
- 平成 28 年 4 月 学校法人神奈川大学 広報委員会委員（平成 29 年 3 月まで）
- 平成 28 年 4 月 神奈川大学 副学長（平成 29 年 3 月まで）
- 平成 28 年 4 月 神奈川大学 全国高校生俳句大賞専門委員会委員長（平成 29 年 3 月まで）
- 平成 28 年 4 月 神奈川大学 共通教養教育推進委員会委員長（平成 29 年 3 月まで）
- 平成 28 年 4 月 神奈川大学 総合学生サポート委員会委員長（平成 29 年 3 月まで）
- 平成 28 年 5 月 学校法人神奈川大学 理事（平成 31 年 3 月まで）